



Pre - pre 1月の生活表

2024 年 7 月

聖マリア幼稚園

保育日 10 日

年主題

さあ、漕ぎだそう 奏でよう

月主題

そんぶんに

月のねがい

- ・ 祈りや賛美を喜び中で神さまと出会う
- ・ やりたいことを存分に楽しみ、そばにいる友だちの存在に気持ち共感する
- ・ 砂や泥、水の感覚を味わったり、草花に触れたりしながら楽しんで遊ぶ

今年は例年に比べて梅雨入りが遅く、子どもたちにとっては思う存分お庭や小さいお庭、屋上で遊ぶことのできた6月でした。お庭ではジョウロやバケツに水を汲みお花にお水をあげ、水の感触、気持ち良さを感じました。又洋服が濡れると気持ち悪いことも感じ、日差しで熱くなった遊具を手で触って熱い！と感じた子どももたくさんいました。この時期ならではの経験がたくさんできて良かったです。夫々の子どもが自分のしたいことを存分に楽しんでくれて私たちも嬉しく思っています。お部屋の中でも色々な楽しいことを見つけ、又自ら作り出し遊んでいる子どもたち！本当に素晴らしいです。

お家でも危険のない様にだけ気を付けて頂き、やりたいことを存分にさせてあげてください。時にはお父さんお母さんも一緒になって遊びましょう！子どもたちにとっては何よりもうれしいことだと思います。お友だちのしていること見て真似て、沢山の刺激をもらっている子どもたちです。お父さんお母さんから見て真似て沢山の刺激をもらっていることでしょう。雨が続くこの時期お母さんと一緒に雨の音を聞きに行くのもいいですよ。雨がどこに落ちるかで音が変わる。そんな素敵な音探しも子どもたちにとって楽しい遊びに繋がります。何をしても楽しい遊びです。又家の中で楽しくお過ごし下さいね。今月も宜しくお願い致します。



《チャブレンコーナー》

年聖句：わたしは道であり、真理であり、命である。

（ヨハネによる福音書 14：6）

月聖句：隣人を自分のように愛しなさい。

（マルコによる福音書 12：31）

ルカによる福音書 10：25－37に、次のようなお話があります。

ある人が旅をしていました。旅の途中で、強盗に襲われました。強盗は身ぐるみはぎ取って、その上暴力を振るい、彼を半殺しの目に遭わせました。しばらく経った後、一人の祭司がその場を通りかかりました。しかし祭司は彼を見捨てて立ち去ってしまいました。その後、一人のレビ人が通りかかりましたが、同じように立ち去りました。その後、一人のサマリア人が通りかかりました。サマリア人は彼を見ると近寄って手当をし、近くの宿屋で夜通し看病し、次の日、宿屋の主人に看病をお願いし、費用を渡し、「帰りに再び寄ります」と言って、自分の用事のために出立しました。

お話は以上ですが、少し背景について説明が必要です。祭司は言うまでもなく宗教者、レビ人も同じような宗教者です。サマリア人は、歴史上の因縁から、ユダヤ人とはとても仲が悪い人々です。この物語は、立場を顧みず困っている人を助けたサマリア人に注目し、愛とは、立場を超えた普遍的なものであることを教えてくれています。

イエス様は私たちに愛を教えてくださいます。その愛は、一貫して行動を伴うものです。祭司やレビ人のように、口先だけで実践が伴わないものは愛ではなく、サマリア人のように、日頃敵対している人にさえ、困っているときには即座に助けるために行動を起こし、共に生きてゆく、それが愛です。

愛は、「恋愛」を超えた、より深いものなのです。

この様な愛を、子どもたちに伝えようとするとき、言葉だけでなく、行動が必要です。愛は、口先ではなく、愛を行う背中をとおして伝えるものなのでしょう。



〈生活指導〉

🌻夏の生活習慣を身につけさせましょう。

- * 日中の気温と、夜の気温の差を気にしながら、体調を整えましょう。
- * 手洗い、毎日の入浴(シャワー)・シャンプー・爪切り・耳あかなど、こまめにチェックしてあげましょう。
- * 冷たいものの暴飲暴食を避け、十分な休息・バランスよい食事を取りましょう。

🌻夏の自然に親しみ、豊かな経験と活動をさせましょう。

- * 身近な自然に触れて観察し、不思議な世界を知らせましょう。
- * 夏の夜空・夕立・雷等の今の自然現象をご家族とともに親しんで見ましょう。

🌻1学期に身につけた生活習慣が崩れないように心がけ、声掛け、はげましをしてみましょう。

🌻今から夏休みの計画をしっかりと立てて、家族みんなで楽しめる毎日を考えてみましょう。

- * 時々はお手伝いもさせてあげましょう。
- * 大好きなご本を一杯読んであげましょう。

